

平成22年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

|                |               |                 |           |
|----------------|---------------|-----------------|-----------|
| 1 学校名          | 唐津市立西唐津中学校    |                 |           |
| 2 所在地          | 唐津市ニタ子1丁目7-83 |                 |           |
| 3 校長名          | 小島 修          |                 |           |
| 4 学級数<br>児童生徒数 | 7学級<br>178人   | 5 実施学年<br>児童生徒数 | 1年<br>59人 |

6 取組のねらい

ユニバーサルデザインの考え方をよく理解したうえで、身近な地域のUDを調べ、その意義や価値を実感させる。また学習したことを全校生徒、保護者等にむけて発表させ、「UDとは何か」を生徒や地域に伝える。

7 取組の実際（写真等を入れ具体的な様子がわかるようにすること）

1 ユニバーサルデザインとは何か。

スライド資料を使って学年合同で学習会をする。

2 「UDを探そう」というテーマで、バス旅行（マリンワールド）に行き、事前に学習したことをもとに、施設内でUDを見つけ、その意義を実感する（写真やメモをとりレポート学習をする）。



3 マリンワールドで見つけたユニバーサルデザインを各自 UD 新聞として1枚にまとめ掲示発表する（掲示した新聞を、保護者や地域の来校者に見てもらう）。



4 「西中校区のUDマップを作ろう！」というテーマのもと、夏季休業中、自分の住む地域のユニバーサルデザインと、「ここにUDがあったらいいな」と思う場所を見つけてレポートにする。



5 文化発表会、学年発表会で「ユニバーサルデザインってなんだろう」というテーマで発表し、全校生徒、保護者、地域へ「UDとは？」を発信する8名の学年代表の生徒が劇仕立てとスライド説明の発表をする。



## 8 取組の成果と課題

今まで、ほとんどの生徒がユニバーサルデザインについて知らなかったが、今回の学習・発表を通して、1年生はもとより、全校生徒や保護者・地域の方々へ「UDとは何か」、「誰もが住みたい街づくり・誰もが使いやすいものづくり」について考えさせるきっかけを作ったことが大きな成果である。

課題としては、学んだことを、今後の身近な生活や、街づくりの中でこれからも、継続して考えていくようにすることである。

※必要に応じて、適宜、枠を広げ作成すること